



じょうりんちゃん

発行 城陽市  
編集 子育て支援課

お問い合わせは 子育て支援課 〒610-0195 城陽市寺田東ノ口16・17 ☎(56)4036 FAX(56)3999へ

## ファミサポってなあに？

- ファミリー・サポート・センター(ファミサポ)は、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児の援助をしたい人(援助会員・有償ボランティア)が会員となり、会員同士で育児に関する相互援助活動を行う組織です。
- 急な用事で保育所・幼稚園の送り迎えができないとき、保護者の通院や他の子どもの学校行事のとき、また自分の時間が欲しいときなどに、援助会員が一時的に子どもを預かったり、保育所などへの送迎をしたりします。
- いざというときに力になってくれる人が、地域にいると思うと心強いですね。



## ただいま活動中



「さあ、おうちへかえろうね！」

援助会員の寺林光子さん(左)と  
豊永知花ちゃん(中)、朱音ちゃん(右)



「あのね、きょうね…」



「ねえ、みてみて〜。すごいでしょ！」

## 幼稚園の迎えと預かり



「さあ！きょうは、なにをつくろうかな」

### 両方会員 豊永佳恵さん

お仕事ができるのは、寺林さんのおかげです。子どもたちは、寺林さんのお宅で遊んだことを自宅で振り返りながら、楽しそうに話をしてくれます。子どもたちの話から、甘えさせてもらっていることや、暖かく見守っていただいていることが感じられ、安心して預けることができます。急な残業にも対応していただき、感謝しています。

#### \*両方会員\*

「依頼」と「援助」の両方に登録をする制度です。用事のあるときは子どもを預けて、時間のあるときは他会員の子どもを預かります。

#### \*依頼会員\*

市内在住・在勤で生後43日目からおおむね10歳までの子どもがいる人

### 援助会員 寺林光子さん

知花ちゃん・朱音ちゃんを預かっている時は、普段の生活とは違う時間が流れて楽しませてもらっています。

子育てが一段落し、少しでも社会に貢献できればと思い活動させてもらっていますが、子どもさんの元気な姿を見ることで、私の方が元気をもらっています。子どもが大好きな私にとってやりがいがあり、子どもさんの笑顔に触れることのできる嬉しいサポートです。

#### \*援助会員\*

市内在住で、自宅子どもを預かることができる人  
※送迎など外での活動もあります

## 活動促進補助金制度

### 利用料(報酬)の基準

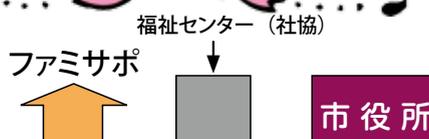
活動日	活動時間	1時間あたりの利用料(報酬)	補助後*
平日	7:00 ~ 20:00	700円	500円
	上記以外の時間帯	800円	600円
土・日曜日、祝日、年末年始		800円	600円

\*活動依頼した依頼会員には、通常利用の場合、市から1時間あたり200円が補助されます。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

## ファミサポの登録方法

依頼会員・援助会員ともに、直接センターへお越しください。  
(会員登録無料)

\*持参する物\*  
はんこ・保護者の写真2枚  
(2.5×3センチ)



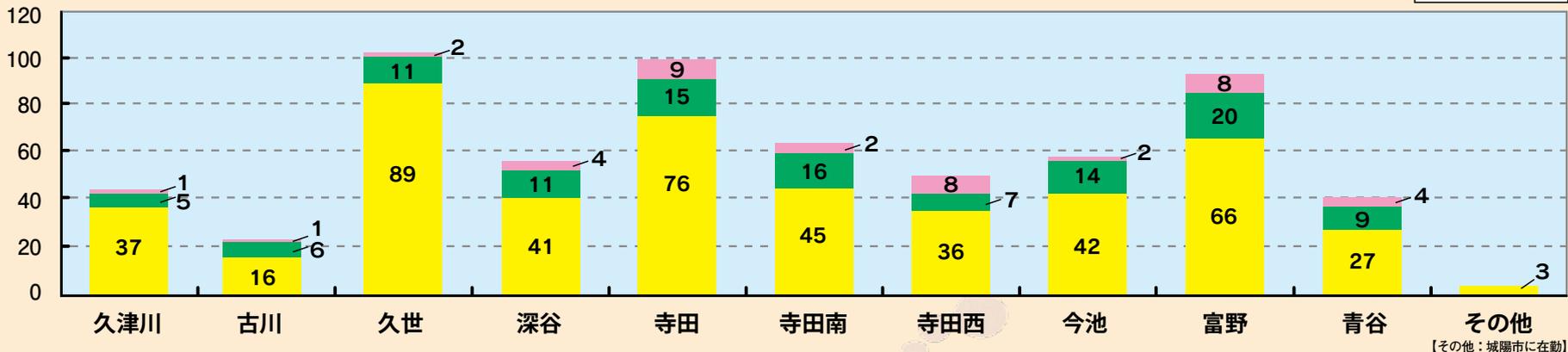


# すうじでみるファミサポ

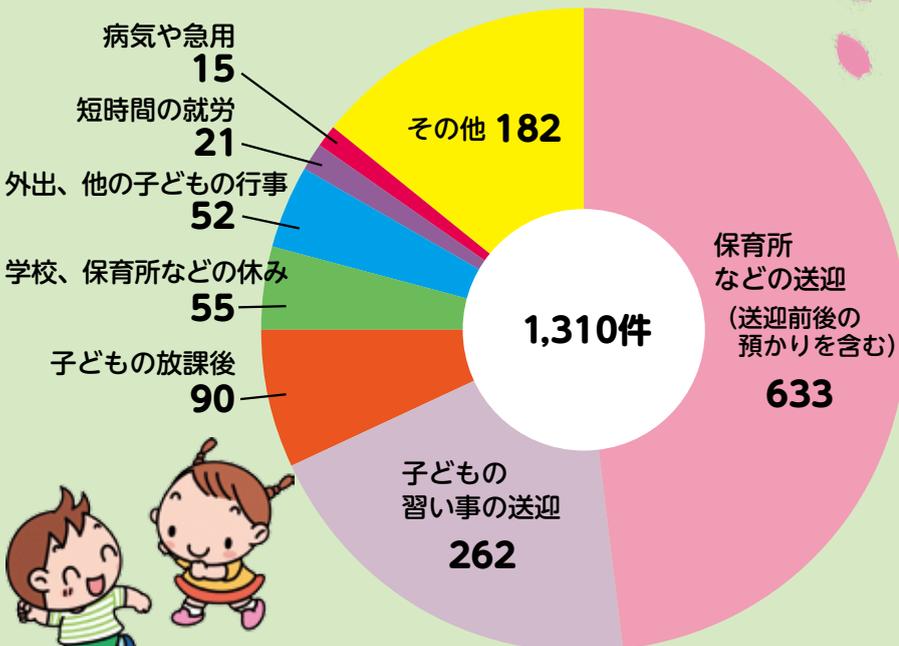


■両方会員  
■援助会員  
■依頼会員

## ①小学校区別会員数(単位=人) (平成29年12月末現在)



## ②活動内容別利用状況 (平成29年4月～12月末)



- 1位 保育所などの送迎
- 2位 子どもの習い事の送迎
- 3位 子どもの放課後

保育施設や習い事への送迎、小学生の放課後のサポートが、ここ数年変わらず利用内容のベスト3を占めています。「その他」は、小学校登校班への送り・小学校への送迎などでの利用です。



ファミサポは、子どもを見てくださる援助会員のみなさんによって支えられています。校区ごとの会員数を見ると、援助会員の数が地域によって差があるのが分かります。ファミサポでは、依頼内容の多様化に伴い、多くみなさんにご協力をお願いしています。

## ③活動時間ベスト3 (平成29年4月～12月末)

- 1位 1時間まで
- 2位 1時間以上～2時間まで
- 3位 2時間以上～3時間まで

1時間までの活動が全体の半数以上です。少し手伝ってもらえば助かる人が多いことが分かります。

だ～いすき!!

### 依頼会員 富川由紀さん

「きょう、まつもとさん？」わが家の双子の決まり文句です。昨年4月からファミサポの利用を開始し、10カ月。援助会員の松本さんは、いつも明るく朗らかで、子どもたちは松本さんが大好きです。そして、冒頭の言葉がしょっちゅう聞かれます。「お母さんが行くよ」と言うと「最近松本さんに会えてへん」と不服げな様子も(笑)。とはいえ、まだ5歳。泣いて母にしがみつくと朝もあります。後ろ髪をひかれる思いで電車に乗ると、職場に着くころに必ず松本さんからメールが届きます。「最初は泣いていたけれど、園に着く頃には笑顔でした」と母の心が少し軽くなるような文面が届くのです。松本さんには、単なる送迎に留まらない、本当の意味での「ファミリーサポート」をいただいています。松本さんのような援助会員の方々、城陽市のファミサポに心より感謝しつつ、母は今日も仕事に向かいます。



依頼会員 富川由紀さん(中)  
いこちゃん(左)・奈都ちゃん(右)



## 援助会員講習会

4月24日(火)

時間 9:30～12:30

場所 福祉センター

※当日保育ルーム有(要予約)  
ファミサポの援助会員希望者対象の講習です。  
お問い合わせはセンターまで

ファミリー・サポート・センター  
TEL・FAX 56-0230  
月～金曜日 9:00～17:00